

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名 一般国道55号 <small>くわのどうろ</small> 桑野道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 四国地方整備局										
起終点 自：徳島県阿南市下大野町渡り上り <small>しもおおのちようわた あが</small> 至：徳島県阿南市内原町桜木 <small>うちわらちようさくらぎ</small>		延長 6.5km										
事業概要 一般国道55号は、徳島県徳島市を起点として、小松島市、阿南市、美波町、室戸市などを經由し、高知市に至る全長約228kmの主要幹線道路であり、産業・経済の交流を支える大動脈であるとともに、通勤・通学等の地域住民の日常生活に欠かせない生活道路としての役割を持つ重要な道路である。 桑野道路は、地域高規格道路阿南安芸自動車道の一部として計画された事業であり、『四国8の字ネットワーク』を形成し、県南地域から近畿圏・徳島中心部へのアクセス向上を図り地域の産業・観光振興を支援するほか、災害時における広域交通ネットワーク確保を図る事業である。												
H23年度事業化 H22年度都市計画決定 H27年度用地着手 H一年度工事着手												
全体事業費 約340億円 事業進捗率 約4% 供用済延長 0.0km												
計画交通量 10,700～13,100台/日												
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体) 1.7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.7	(残事業)	1.7	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体) 267/274億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">258/264億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">10/ 10億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/ (事業全体) 267/274億円	(事業費)	258/264億円	(維持管理費)	10/ 10億円
B/C	(事業全体) 1.7											
(残事業)	1.7											
総費用	(残事業)/ (事業全体) 267/274億円											
(事業費)	258/264億円											
(維持管理費)	10/ 10億円											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体) 463/463億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">370/370億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益)</td> <td style="text-align: center;">67/ 67億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">26/ 26億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/ (事業全体) 463/463億円	(走行時間短縮便益)	370/370億円	(走行経費減少便益)	67/ 67億円	(交通事故減少便益)	26/ 26億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">基準年</td> <td style="text-align: center;">平成25年</td> </tr> </table>	基準年	平成25年	
総便益	(残事業)/ (事業全体) 463/463億円											
(走行時間短縮便益)	370/370億円											
(走行経費減少便益)	67/ 67億円											
(交通事故減少便益)	26/ 26億円											
基準年	平成25年											
感度分析の結果 【事業全体】 交通量 : B/C= 1.2～2.3 (交通量 ±10%) 【残事業】 交通量 : B/C= 1.2～2.3 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C= 1.5～1.9 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C= 1.6～1.9 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C= 1.6～1.8 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C= 1.6～1.9 (事業期間±20%)												
事業の効果等 南海トラフ巨大地震による津波浸水被害が予測される地域に対して緊急輸送道路の代替機能を確保し、県南地域から近畿圏・徳島中心部へのアクセス向上による地域の産業・観光振興の支援など、多様な整備効果が期待できる。												
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞時間損失の削減が見込まれる。 ・現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の交通改善が期待される。 ・現道等の混雑緩和により定時制が確保され、路線バスの利便性向上が見込まれる。 ・徳島阿波おどり空港へのアクセス向上が見込まれる。												
②物流効率化の支援 ・重要港湾徳島小松島港へのアクセス向上が見込まれる。 ・近畿圏や徳島中心部への地場産品（阿波尾鶏、伊勢エビ、アワビ）の流通の利便性向上が見込まれる。												
③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の一部を形成し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する。												
④個性ある地域の形成 ・「広域連携推進プロジェクト」を支援する。（第5次阿南総合計画） ・徳島県南部地域への観光アクセス向上が見込まれる。												
⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（徳島赤十字病院）への搬送時間が短縮し、重篤患者の救命率向上が見込まれる。												
⑥安全な生活環境の確保 ・阿南市内の交通事故件数の減少が期待される。												
⑦災害への備え ・国道55号が通行止めになった場合の代替路を形成する。 ・桑野道路は国道55号阿南道路とともに第一次緊急輸送道路に指定されている。 ・南海トラフ巨大地震発生時の津波浸水想定箇所を回避し、緊急輸送道路のリダンダンシーを確保する。												
⑧地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。												
⑨生活環境の改善・保全 ・NOx、SPM排出量の削減が見込まれる。												

⑩その他

・四国横断自動車道と一体的に整備することで四国8の字ネットワークを形成する。

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等

・阿南市高規格道路建設促進期成同盟会、徳島県議会四国横断自動車道・阿南安芸自動車道建設促進議員連盟、四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟、徳島県道路整備促進期成同盟会、徳島県、阿南市美波町、海部郡町村議会議長会、四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会から本事業の整備推進について、積極的な要望活動が続けられている。

徳島県知事の意見：

・「桑野道路」の事業を継続するという「対応方針（原案）」案については、異議ありません。「桑野道路」を含む地域高規格道路「阿南安芸自動車道」は、「四国横断自動車道（阿南～鳴門間）」とともに、「四国8の字ネットワーク」を形成し、平時は救急医療施設への搬送時間の短縮、「南海トラフ巨大地震」発生時は津波で寸断される一般国道55号の代替道路や緊急輸送道路となる「命の道」として、県民の安全・安心を支えるうえで必要不可欠な道路であります。また、県南部の豊かな農水産物が、都市部へ速やかに、かつ安定的に供給可能となるとともに、県南地域の美しい自然を活かした観光振興など「活力の道」として、地方の創生につながるものと考えています。このため、引き続き、コスト縮減を推進し、事業の着実な実施をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成23年 7月 日和佐道路（阿南市福井町小野～由岐IC間：L=3.1km）開通（日和佐道路全線開通）
- ・平成24年 4月 阿南安芸自動車道 福井道路 L=9.6km 事業化
- ・平成25年11月 阿南道路（阿南市津乃峰町西分～橘町大浦間：L=1.7km）開通
- ・平成27年 3月 四国横断自動車道 徳島IC～鳴門JCT間 L=10.9km 開通
- ・平成27年 4月 国道55号（小松島市大林町字宮ノ本～阿南市津乃峰町東分間 L=13.5km）徳島県へ移管

事業の進捗状況、残事業の内容等

・用地進捗率約4%、事業進捗率約4%（平成28年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・平成25年度より設計協議、平成27年度より用地測量調査に着手し、用地買収を推進中。

施設の構造や工法の変更等

・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

※ 費用対効果分析結果及び感度分析の結果の欄に係る数値は、平成25年度評価時点。